

新幹線

1 九州新幹線西九州ルート

問合せ先 新幹線事業対策室

日本最西端に位置する観光立県「ながさき」を「交流人口」の拡大により活性化し、県勢の発展を図るために、新幹線整備により高速鉄道ネットワークを確立し、主要都市との時間・距離の短縮を図ります。

西九州ルートは、令和4(2022)年度に武雄温泉駅において在来線特急と新幹線を乗り換える対面乗換方式により開業する予定です。

長崎県は、新幹線の開業効果が最も高く、現在整備が進んでいる武雄温泉～長崎間のインフラを十分活用できる全線フル規格による整備を求めています。



■ 新鳥栖～博多 約26km **フル規格**

鹿兒島ルート併用

■ 武雄温泉～新鳥栖 約51km **整備方針未確定**

※フル規格による整備を要望

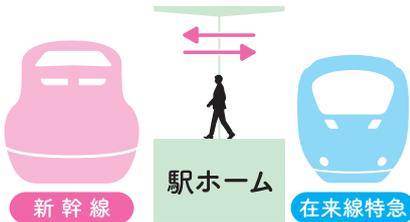
■ 長崎～武雄温泉 約66km **フル規格**

平成24年6月29日許可



対面乗換方式

対面乗換とは、新幹線と在来線特急を同じホームで乗り換えることです。



【事業の概要】

- 区間: 武雄温泉・長崎間
- 工事延長: 約67km(取付部含む)
- 経過地: 武雄市、嬉野市、東彼杵町
大村市、諫早市、長崎市
- 駅: 武雄温泉駅、嬉野温泉(仮称)駅
新大村(仮称)駅、諫早駅、長崎駅
- 設計基準: 設計最高速度 260km/h
最小曲線半径 4,000m
最急勾配 30%
軌間 1,435mm
電車線の電圧 25,000V(交流)
- 事業主体: (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- 事業期間: 平成19年度～令和4年度(予定)
- 総事業費: 約6,197億円
- 主要な構造物

5.3km(7.9%)	切取、盛土
7.1km(10.6%)	橋りょう
13.6km(20.3%)	高架橋
41.0km(61.2%)	トンネル
- 構造物標準断面図

高架橋	約11.2m
トンネル	約7.7m
	約9.5m

○長崎県内工事の状況

長崎県内では、本線土木工事が着実に進められています。
開業に向けて、駅舎の建築工事が軌道工事、電気工事などの開業設備工事も進められていきます。



本線土木工事



千綿川橋りょう(東彼杵町)



新長崎トンネル(長崎市)

軌道工事



レール敷設(参考:佐賀県嬉野市内)

写真提供: 鉄道・運輸機構

建築工事 (駅舎イメージ図)



新大村(仮称)駅



諫早駅



長崎駅

画像提供: 鉄道・運輸機構